

平成15年度小学校・中学校・高等学校「総合的な学習の時間」モデル授業中間報告
東京都立八王子北高等学校

○ 学校の概要（平成15年4月現在）

東京都立八王子北高等学校						
	1年	2年	3年	計		教員数
学級数	6	6	6	18	5学級を6クラスで展開	44
生徒数	200	202	188	590		

1 本年度当初の課題

「総合的な学習の時間」の全体計画の在り方、評価の在り方について

2 小学校・中学校・高等学校が連携した総合的な学習の時間の取組について、実践事例を通して検証し、地域全体として「総合的な学習の時間」のねらいを実現するための教育活動の具体的な方策を明らかにする。

高等学校における、「生きる力」をはぐくむことを目指し、知の総合化の視点を重視した「総合的な学習の時間」の充実方策について

3 研究内容（実践等）と課題

○「環境」をテーマに地域を流れる浅川を題材に教育活動を実践する。

- ・ 榎原小（4学年）は、「もっと知ろう、楽しもう北浅川」をタイトルに、様々な角度から活動を展開。
- ・ 四谷中（1学年）は、「地域との共生」をタイトルに、地域研究を展開。
- ・ 八王子北高（1学年14グループの1つ）は、「身近な川…浅川を調べよう。」をタイトルに自然科学的な内容を中心に活動を展開。
- ・ 上記3校の浅川での取組を「共にふみ出そう、青い地球をより青く！～浅川の青さを取り戻し、憩いの場にしようプロジェクト」というタイトルで統一し、環境美化活動を端緒に、地域住民・地域の環境リーダーと行動を共にすることにより、自然環境問題に取り組み、解決していこうとする態度を育てる。

○平成15年4月から現在までの進捗状況（実践内容等）

6/16、9/26の定例連絡会及び、7/3、9/11、10/21の3校連絡会において、3校にまたがる取り組みの概要、計画、実践活動の実施案、ワークシート、評価カードの作成などについて検討を重ねた。さらに、地域住民・PTAへの呼びかけ、環境リーダーの依頼、河川管理者への対応などを協議した。

この間7/8には、本校教諭が榎原小へ赴き、野草に関する研修を教員対象で実施。また、7/16には本校前期のまとめである、ポスターコンクールを榎原小教頭が見学された。

11/12浅川で、連携した教育活動を実施した。11/25に3校連絡会において連携授業の反省と来年度へ向けた課題等について話し合った。

今後の課題

○小・中・高が連携することの必要性を明確にする。

- ・ 教員の授業交流
- ・ 地域環境・人材の共有
- ・ 3校のカリキュラム、総合的な学習の時間のねらい

4 平成16年度の取り組み

別紙

●生徒の実態
 ・調査・体験活動を好み、人と積極的にかかわろうとする生徒が多い。
 ・内容や方法が明確な学習には積極的に取り組む生徒が多い。
 ●教師の願い
 今日的な課題等を自らの興味・関心を生かしながら追求する生徒を育成する。

●学校の教育目標
 互いの人格を尊重し、思いやりや規範意識を育て、よき社会人になるための基礎を育てる。
 自ら学び、考え行動する態度を育てる。

○総合的な学習の時間のねらい(学習指導要領)
 (1)自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てること
 (2)学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の在り方生き方を考えることができるようにすること

共通理解事項
 ◎学校全体での取組
 ・地域調査・在り方生き方学習にかかわる活動を全学年で実施する。
 ○学年での取組
 ・学年で協力して、学校の全体計画に沿って課題を設定し取り組む。
 ○学級としての取組
 ・学級の生徒の実態や興味関心に応じて追究する内容を弾力的に計画する。

本校の「総合的な学習の時間」の目標

○身近に存在する様々な課題に対し、その解決の方策を、体験的な活動や問題解決的な学習を通して追求する過程で、自ら考える力、人とのかかわり、自己の在り方生き方、また、地域の自然、文化などを大切にしようとする態度を育てる。

学年の目標

1年	2年	3年
・他者や環境に対する理解を深め、社会性を養い、生きる力をはぐくむ。 ・進んで学習課題を発見し、考え、調べ、解決する力を身につける。	・自ら課題を見出し、予想や仮説を立てて計画的に追究できるようにする。 ・様々な人々との交流を通して、多様なものの考え方や生き方があることに気付く。	・自ら価値ある課題を見出し、学習計画を立てて追究することができるようにする。 ・自分の活動を振り返りこれからの自分の在り方生き方について考えることができるようにする。

めざす授業像
 ○体験的な活動を重視し、その中で問題解決的な学習が経験できるように意図する。
 ○パソコンを道具として使いこなし、インターネットやプレゼンテーションソフトを活用し情報収集、情報発信を行えるようにする。
 ○様々な人との直接的なかかわりを大切にする。
 ○関係施設や民間企業、保護者など、地域の教育力を最大限活用する。

関係機関との連携
 ・地域在住の環境学習リーダー
 ・浅川、川口川付近に住むする古老
 ・市役所環境部
 ・リサイクルセンター関係者
 ・ゴミ処理場とその関連施設関係者
 ・処理場関係者
 ・八王子市社会福祉事務所職員
 ・八王子市社会福祉協議会職員
 ・ハローワーク職員
 ・学校運営連絡協議会協議委員
 ・PTA関係者
 ・保護者

内容・単元

	1年	2年	3年
1学期	将来自分の在り方生き方を考えよう 企業・施設訪問	進路実現に向けて、職業を調べよう インターンシップ	在り方生き方を知る(人生の先輩に学ぶ)
2学期	進んで学習課題を発見し、考え、調べ、解決する力を身につけよう	自分の在り方生き方を求めて(自己実現)	
3学期	調べた内容を発表しよう	社会への提言-私たちにできること 調べた内容を発表しよう	

教科との関連(重点のみ)
 育てたい資質・能力の関連
 ・教科における固有の目標との関連を図る。
 ・生徒全員が身に付けるべき基礎・基本の学習との関連を図る。
 ・創造力、実践力をはぐくむ。
 ・少人数指導による基礎・基本の学力の定着。
 ・主体的・創造的な学習の展開。
 ・課題解決学習、体験的な学習
 【国語科】
 ・自分の考えを大切に、目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする能力を高めるとともに、話し言葉を大切にしようとする態度を育てる。
 ・伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし言語感覚を磨き、進んで表現することによって社会生活を充実させる態度を育てる。
 【歴史科】
 ・歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深める。
 ・地域調査など具体的な活動を通して、課題を多角的に考察させる。
 ・様々な資料を適切に選択、活用する
 【公民科】
 ・広い視野に立って、現代の社会について主体的に考察させ、理解を深めさせるとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を育てる
 【数学科・情報科】
 ・情報に関する科学的な見方や考え方を養うとともに、社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解させる
 ・コンピュータを道具として使いこなし、情報収集、分析等に活用する
 【理科】
 ・自然に対する関心や探求心を高め、科学的に探求する能力と態度を育てる。
 ・地域の環境を生物や化学の知識を活用して、多角的に考察させるとともに、総合的に理解を深め、それらの知識を適切に活用する能力と態度を育てる。

特別活動・学校行事との関連
 望ましい集団生活を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸張を図り、集団や社会の一員としてより良い生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てるとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。
 ・心身の調和のとれた発達と個性の伸張を図る。
 ・集団や地域の一員としての自覚を持たせ、よりよい生活を築こうとする態度を育てる。
 ・人間としての在り方生き方についての自覚と自己を生かす能力を育てる。
 ・ホームルーム活動
 ・生徒会活動
 ・文化祭
 ・体育祭
 ・修学旅行
 ・奉仕活動

評価規準

観点	1年	2年	3年
主体的な解決問題力	・体験から自分なりの思いや考えをもち、課題を見つける。 ・自分とのかかわりで課題をとらえ、調べようとする意欲を高める。 ・課題に対する自分なりの予想を立てる。	・体験から自分なりの思いや考えをもち、課題を見つける。 ・自分とのかかわりで課題を明らかにし、調べようとする。 ・課題に対する自分なりの解決の方策を立てる。	・経験したことの中から学んだことを整理し、自分なりに課題を明確にする。 ・課題解決への見通しをもつ。 ・協力して情報収集したり友達との考えを取り入れたりして自分の考えを明らかにする。 ・自分の進路を決定する。
多様な物考のえ見方	・かかわりをもった相手の思いや願いを感じ取る。 ・違いを大切に、相手の立場を尊重して考える。 ・学習してきたことを振り返り、自分なりの成果や課題をまとめてみる。	・相手の思いや願いを感じ取り、自己の課題解決に生かす。 ・違いを大切に、相手の立場に立って物事に取り組む。 ・学習内容に基づき、成果や課題を自分なりの表現を大切にしてみとめる。	・立場による考え方の違いを踏まえて自分の考えをまとめる。 ・内容を吟味し、それぞれの意味や意義を考える。 ・学習成果をまとめ、学習したことの意味や価値について自分の言葉でまとめる。
学習への創造的主体的態度	・興味・関心を広げ、自分の課題を集中して調べる。 ・現地へ行ったり、周囲の人に聞いたりするなど、自ら行動を起こす。 ・自分なりの発想で、調べ方やまとめ方を工夫しようとする。	・自分の課題や新たに発見された問題に対し積極的に調べる。 ・現地調査や、取材活動など、自ら積極的に調査する。 ・自分なりの調べ方やまとめ方を工夫のある表現をしようとする。	・自分で考えたり企画したことについて、着実に実現する。 ・進んで取材し立場や考えの違う人の意見を聞こうとする。 ・様々な調べ方、まとめ方を工夫し、課題に応じたものを見つけてみようとする。
自己の考を在り方力	・自然と自分とのかかわり、自然と人間の生活とのつながりに気付く。 ・自分を取り巻く環境や様々な人々に目を向け、違いを認める。 ・学んだことを自分の生活の中で、生かそうとする。	・自然と自分・自然と人間の関わりを大切に、環境的な視点に立ち課題を考える。 ・自分を取り巻く環境や様々な人々の生き方を学ぶとする。 ・自分の現在の生活や将来の生活に生かそうとする。	・身近な自然環境から環境問題に目を向け、解決に向けて取り組んでいこうとする。 ・様々な課題に対し、解決意欲をもって生活しようとする。 ・自分の在り方生き方を進路と関連付けて考える。

評価方法
 ○活動観察
 ・調査活動
 ・役割、発言
 ・準備の進め方
 ○作品分析
 ・発表用レジュメ
 ・まとめ作品
 ・ノート
 ○ワークシート等
 ・自己評価
 ・相互評価
 ・外部評価
 ○聞き取り
 ・課題設定の理由
 ・学習計画
 ・まとめ方法
 ○意識調査
 ・事前、事後
 ・変容分析
 ・関係機関等

その他
 ○時間割編成を工夫し、学年合同の時間が組めるようにする。
 ○保護者への協力依頼を作成し、学期始めに配布する。
 ○指導計画や資料等はファイルし、学校財産として保管する。
 ○教育課程委員会に「総合・・・」担当を置き、関係施設との連絡を密にする。

育てたい資質・能力の関連
 ・教科における固有の目標との関連を図る。
 ・生徒全員が身に付けるべき基礎・基本の学習との関連を図る。
 ・創造力、実践力をはぐくむ。
 ・少人数指導による基礎・基本の学力の定着。
 ・主体的・創造的な学習の展開。
 ・課題解決学習、体験的な学習
 【国語科】
 ・自分の考えを大切に、目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする能力を高めるとともに、話し言葉を大切にしようとする態度を育てる。
 ・伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし言語感覚を磨き、進んで表現することによって社会生活を充実させる態度を育てる。
 【歴史科】
 ・歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深める。
 ・地域調査など具体的な活動を通して、課題を多角的に考察させる。
 ・様々な資料を適切に選択、活用する
 【公民科】
 ・広い視野に立って、現代の社会について主体的に考察させ、理解を深めさせるとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を育てる
 【数学科・情報科】
 ・情報に関する科学的な見方や考え方を養うとともに、社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解させる
 ・コンピュータを道具として使いこなし、情報収集、分析等に活用する
 【理科】
 ・自然に対する関心や探求心を高め、科学的に探求する能力と態度を育てる。
 ・地域の環境を生物や化学の知識を活用して、多角的に考察させるとともに、総合的に理解を深め、それらの知識を適切に活用する能力と態度を育てる。